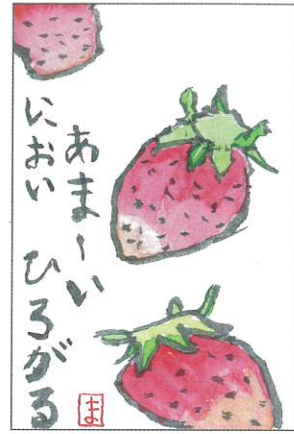


2014

54

亀城福祉だより

みんな大好き、真っ赤ないちご。
赤い色はポリフェノールで一種で
目の疲れ、視力回復に良いそうです。
また活性酵素を持ち、ガンの予防にもなるとか。
かわいくて・おいしくて・働き者！
三拍子そろった人気者です。



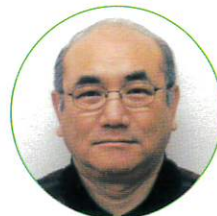
亀城小5年 富澤 愛美さん



9月27日 ふれあいの会

今年度春に最上町自治会長を引き受け、同時に学区社協の副会長も引き受け、多忙な毎日を送っております。私は児童福祉に携わって10年近くになるのですが、地域の高齢者向け福祉活動は経験が無く、自治会と社協の活動を通して深く考えさせられました。

少子高齢化社会が進む中、私達地域住民はそれにどのように対応したら良いか。そんな現実の先行きに不安を覚えるようになりました。今ある組織を上手に使う、良い地域福祉が構築出来ないかと考えた時に、「隣組」の良さをもっとと生かしてゆくべきではないか。「活性化された隣組」それがこれからはキーワードになってゆく。そして地域の皆さんも、覚悟を決める。地域福祉の担い手として動ける人は動く。そんな好環境が生まれてくれば、きっともっと良い地域福祉社会が築けると思っています。



亀城学区社会福祉協議会
副会長 東根 幸紀

より良い地域福祉への 取り組み展望

富樫文子さん
担当地区
立町

相場智子さん
担当地区
長袋町
亀ヶ崎三丁目東

小田和子さん
担当地区
亀ヶ崎二丁目

大内和子さん
担当地区
横道町
戸沢町

昨年12月の改選により、民生委員・児童委員の皆さんが新しく委嘱されました。福祉の相談から日常生活まで、皆さんが抱えるいろいろな問題について一緒に考えたり、アドバイスをしたりと問題が解決するよう日々活動しています。お名前と担当地区をご覧になり、お気軽にご相談ください。

民生委員・児童委員が 新メンバーになりました！

みなさん よろしく
お願いします！
※が付けている方は
新任です

田澤 薫さん
担当地区
主任児童委員
亀ヶ崎地区担当

富樫光子さん
担当地区
みずほ一丁目

石黒佳子さん
担当地区
東中の口町

矢野智子さん
担当地区
千石町二丁目

伊藤良子さん
担当地区
千石町一丁目

澁谷良子さん
担当地区
亀ヶ崎六丁目

西村 武さん
担当地区
最上町

平成25年度亀城学区社会福祉協議会
第2回標語募集入選者

※入選した標語は別紙に記載し、あらためてご紹介します。たくさん
の応募ありがとうございました。

【小学生の部】
ゆうほどうぼくとおじいちゃんの
わらいごえ
じいちゃんせなか あらうてあげたら
うれしなき 後とうひろし(二年)
わりはだめばくらがいるよ
たよつね 斎藤 柚香(三年)
もつげだの心安らぐ 祖父母の声
和島 美侑(四年)
ばあちゃん「おかえり」の声で
ほつとする 後藤 誠司(五年)
ボランティアの輪を 広げよう
つなげよう 榎本 樹生(六年)

【中学生の部】
石垣那由多(二年)
五十嵐泰波(二年)
梶原 沙耶(二年)
後藤 愛奈(三年)
大場万里奈(三年)

【一般の部】
仲川みさ子(未定)
阿部 綾子(亀二)
守屋 洋輔(未定)
五十嵐美智(最上)
藤丸 美生(千石)

【小学生の部】
いがらしほのか(一年)
ふくしまらん(一年)
阿部 蓮(三年)
長濱 美月(四年)
福島 伊織(四年)
五十嵐春香(五年)
伊藤里緒奈(五年)
星 貴登(五年)

【中学生の部】
住石 海希(二年)
小野 愛莉(二年)
渡部 花菜(二年)
莊司 唯那(二年)
後藤 実友(三年)

【一般の部】
阿部 克明(立町)
阿部 宣子(立町)

編集後記

今年の干支は午である。塞翁が馬と言う諺があるが、人生の幸不幸は前もって分からないものだから、その度に悲しんだり喜んだりすることは無いということ。だから、うだが、万事、うまくいくよう精進したいものです。(宏)

平成25年度編集委員
阿部 宣子 田澤 薫
江口 暢子 矢野 信子
大江 美千 本間 宏
大場 直人 (五十音順)

“メタボ予防の食習慣” これは止めよう!!

健康一口メモ

1. 朝食を抜く
2. 早食い
3. ～ながら食
4. 深夜の食事
5. 満腹になるまで食べる
6. ～ばかり食

バランスのよい食事を



▲デイケアセンターで和やかな交流

訪問前に、高齢者がどんなことを大変に感じているか福祉協議会の方にご指導いただき疑似体験をしました。交流の前には、介護士の方のお話を聞き、実際に介護補助の体験をして、高齢者の身になってということ学びました。交流では、歌や踊りを発表し、それから準備した物と一緒に遊びました。おじいちゃん、おばあちゃんからとても喜んでいました。

**総合的な学習
「ボランティアを広げよう」**
酒田市立亀城小学校

六年生は総合学習で、ボランティアの心を学び、活動を広げようと熱心に取り組んでいます。デイケアセンターへの交流訪問もその一つです。



▲自治会長に防災について提案

「地区防災」私たちの提案
酒田市立第三中学校

今年度、三年生の総合学習では「我が地区の防災をチェックして自分達ができることを考えよう」というテーマで防災学習に取り組みました。地域で起こりうる災害と防災の実態について調べ、市の危機管理課や消防署等から専門の方を招いて勉強会を行いました。

1月27日、これまでの活動をもとに自分たちが防災について考えたことを自治会長に提案する会を開きました。洪水対策や防犯対策などについて中学生の視点で考えた提案に対して、自治会長さん達からも様々な助言をいただきました。



▲ありがどの。いやいや、おだがいさまださげの(升田地区 1月18日)

高齢者にとって
除雪は大難儀



いつまでも健康でいきいきと暮らしたいとは誰もが願うことですが、どうしても避けられない「老い」という現実。体の老い・心の老い。老いることにより発生するさまざまな問題を「今は他人事でも明日はわが身」と受けとめ、地域福祉について再確認しました。

みんなで支える 福祉のまちづくり

第二回 会員研修会 1月18日 東禅寺コミセン

講師

酒田市健康福祉部福祉課
課長補佐

遠藤 裕一氏

酒田市社会福祉協議会
地域福祉課主査

五十嵐 勉氏

■超高齢社会への突入

日本は年々高齢化が加速し、逆に国の活力となる生産年齢人口(15～65歳)は減少の一途にあります。全人口に対し65歳以上の占める割合が21%を超えると「超高齢社会」となり、酒田市はなんと国より早く平成11年、超高齢社会に突入しています。60年前は10人以上で高齢者1人を支えていましたが、今では約3人で1人、あと45年後には13人で1人を支えることになるのです。

■超高齢社会の地域課題

介護サービスを受けるほどではないにせよ、ちょっとした事ができなくなり日常生活に支障をきたすようになる。(通院、買い物、除雪、ごみ出し、灯油詰め、電球・蛍光灯の交換、掃除、食事、金銭・財産・通帳などの管理ほか)

災害時のスムーズな避難は？ 支援者の確保やサポート体制は？



▲防災時はもちろん、日常のトラブル解消まで、地域でお互いに見守りあうことの大切さを学びました。(前列右・講師の五十嵐氏、前列左・遠藤氏)

■おたがいさまの心で

下段で紹介しているように、酒田市にもさまざまな介護・福祉サービスがありますが、これらの行政サービスにもおのずと限界があります。大切な事は公的サービスを活用しながらも他人まかせ、公的機関まかせにしないこと。地域の支え合い・助け合いこそ町づくりの力。民生委員・自治会長・福祉協力員・コミュニティ振興会が中心となり協力体制を作ることが重要となります。みんなが地域のボランティア、支える人も支えられる人も「おたがいさまの心」を持つことの重要性をあらためて感じた研修会となりました。

ご存知ですか？

酒田市における高齢者のための介護・福祉サービスは、さまざまなものがあります。介護認定がなくても受けられるサービスもありますので、市福祉課または包括支援センターはくちようまでお気軽にご相談下さい。

①ほつとふくし券事業

一般券(タクシー利用助成など) 紙おむつ専用券 ストレッチャー車専用券

②やさしい生活支援事業

在宅福祉機器購入時の助成

③軽度生活支援事業

住居内の清掃やゴミ出しなど1時間以内で終わる援助

④緊急通報システム事業

緊急通報装置の貸し出し

⑤やさしいまちづくり除雪援助事業

高齢者、障がい者の方を対象に生活通路の除雪を行う

⑥高齢者雪下ろし支援事業

など

⑦飛島高齢者支援事業

包括支援センターはくちよう

酒田市福祉課

☎21-0818
☎26-5731

こんにちは 赤ちゃん

子どもは家族の宝、地域の宝です。地域のめんごい赤ちゃんをご紹介します。

阿部 新(あらた)くん [H25.8.16生]
千石町一丁目 6ヶ月
ピーンと立った髪と元気なあんよがトレードマーク。手遊び歌が大好き！健康で優しい子に育ってね。



本田 葵(あおい)くん [H25.7.22生]
亀ヶ崎四丁目 7ヶ月
予定日より3週間も早く顔を見せてくれたあおい君。のびのびとゆっくり元気に育ってね。



齋藤匡慶(まさよし)くん [H25.3.22生]
みずほ一丁目 11ヶ月
4.1kgと大きく生まれたまさよし君は皆を明るくしてくれます。思いやりと責任感がある子になってね。



亀城学区 赤ちゃんの人数は？(平成25年3月31日現在)

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
55人	53人	47人	46人	49人	59人

地域の中で子育て支援

放課後の子どもの居場所

『ピーターさんの庭』

～地域に居場所を開放～

『ピーターさんの庭』(長袋町)は、毎週水曜日の3時から5時に開放されている子どもの居場所です。土日は教会として使われているこの場所を、牧師である藤井秀一さんが、地域の役に立たいということで始めました。特別なプログラムはなく、宿題しても遊んでもよし、子ども達同士で自分の家のように過ごしてほしいと、地域の方々も顔を出し子ども達を見守っています。「時にお母さん達のお茶飲みの場所になる

こともあります。ぜひ、気軽に使ってください。」

☎ピーターさんの庭
亀ヶ崎3-2-45
☎(0234)23-4755

